雪氷写真館 6

写真 1. 鳥海山南西斜面における雪崩跡(1994 年 3 月)

写真 2. 同上(遠景)

鳥海山の大雪崩跡

春先の湿雪雪崩は, 真冬に発生する乾雪表層雪崩とは 異なり, いわゆる流れ型と呼ばれる運動形態を示す. こ の写真は, 1994 年 3 月, 鳥海山の南西斜面の標高 1100m 付近から撮影された大雪崩の跡である. まるで大蛇が曲 がりくねりながら通った跡のように見える. 走路の擦条痕から判断すると, 発生からさほど時を経て いないと思われる. 走路となっ た谷は, 地形図では噴火時に発生した泥流の侵食で形成 されたと読みとれる. この雪崩の規模は, 長さ約 2000m, 幅約 50m,デブリの厚さ約 15m であった. 我々の目に触れないところで起こっている大雪崩がまだあるのかもしれ ない.

吉川 祐治 さん(山形県酒田市在住)撮影
文: 阿部 修 会員(新庄雪氷防災研究支所)